

Fuji

BUSINESS REPORT 2025

株式会社フジ・コーポレーション
証券コード：7605

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**
フジ・コーポレーションは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

弊社は1971年に創業して以来、現代の日本人の生活に欠かす事の出来ないクルマの重要なパーツであるタイヤとホイールに取扱商品を特化し【モビリティへの貢献】を目指し、取り組んで参りました。

2024年の世界情勢はロシア、ウクライナをはじめ、複数の地域で紛争による緊張が続いており、それに伴う地政学的リスク等により、先行きが不透明な状況が続いております。

また、我が国の経済は、高水準の家計貯蓄や賃上げ、減税等により部分的な改善がみられるものの、回復基調は緩やかで完全な成長への道筋はまだ整っておりません。

一方、弊社に関しましては、第52期（2023年11月1日～2024年10月31日）は取扱商品の全般的な値上げや、暖冬によるスタッドレスタイヤの販売数量の減少はありましたが、販売商品の単価上昇により売上高は前事業年度を上回りました。

営業利益は円安による仕入れコストの上昇及び、政策的賃上げにより減益となりましたが、賃貸物件の売却により当期純利益は増益となり、その結果売上高2.3%増、営業利益0.9%減、当期純利益1.6%増となりました。

地球規模での環境問題、特に温暖化対策として「自動車の脱炭素化」はますます重要性を増しています。電気自動車（EV）や、燃料電池車（FCV）の普及が加速する中、急速に変化する自動車業界の動向と、お客様のニーズを正確に捉える商品展開を目指して参ります。

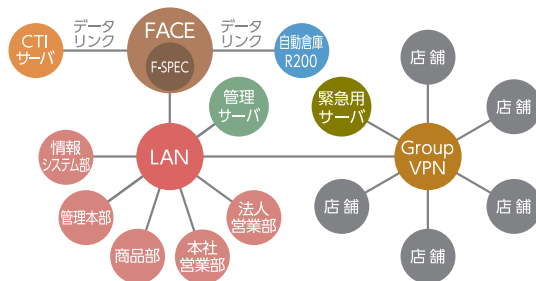
今後も「社会貢献」と「人材育成」をサステナビリティ推進の柱とし、高い専門知識と技術力を持つタイヤのプロフェッショナルとして、お客様に信頼され、安心して選ばれる存在であり続ける為に、タイヤとホイールの専門店としての優位性を維持するだけでなく、新しい分野への挑戦を続け、業界の枠にとらわれない発想と行動力を武器に、更なる成長を目指して参りますので、今後ともより一層のご支援、お引き立てを賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

2025年1月

代表取締役会長 遠藤 文樹

基幹システム [FACE] データを共有化し、マルチリンクさせた基幹システム

当社のネットワーク基幹システム「FACE」は、本社各部署・ロジスティクス及び営業店舗に配置されたコンピュータを専用回線で結んでネットワークを構成したもので、これによって全社の仕入データ・販売データ及び顧客情報をリアルタイムで更新しております。「FACE」を活用する事で販売戦略の基本となるすべての必要情報がリアルタイムで引き出せ、機を逃す事のない経営指針の決定を行っております。また、受注管理・販売管理・入金管理・仕入管理・在庫管理・店舗管理・人事管理・経営管理、これらすべてのデータを本社サーバーに持たせたLANの構築により、事務処理の軽減化を図り、さらにはデータの一括処理を容易なものにする事で状況判断をより迅速に行っております。なお、顧客情報については、サーバーの分離及びアクセス権を厳重管理しております。



オリジナル商品・輸入 ニーズを的確に捉えた商品戦略

■プライベートブランド

基幹システム「FACE」に蓄積されたデータを元に売れ筋商品を割り出し、アルミホイールのプライベートブランドをメーカーと共同で開発しております。ナショナルブランドの価格競争による利益率低下を回避し、最新のデザイン、機能を持った商品の開発をより早く行う事で売上ボリューム及び利益率の増加につなげております。また、これらの商品を積極的販売商品として位置付け、ホームページや雑誌等に積極的な宣伝活動を行い、当社各店舗及び全国の卸業者様を通じ、一般小売店にも販売頂いております。

■輸入

当社は取り扱い商品の調達を国内のみならず独自の輸入ルートによる海外調達も行っております。一時期、海外の一流メーカー商品は、複雑な流通機構の為に一般消費者に渡るころには、現地価格と比較してかなり高い物になっておりました。当社は頻繁に海外で行われる自動車用品の見本市に出向き、現地メーカーや貿易商社との交渉を行い、独自の仕入ルートを開拓する事で、現地とほぼ同じ価格で販売出来る体制を構築しております。



広告・PR戦略

知名度が高く、幅広い世代のファン層を持つお笑いコンビの「バナナマン」さんをイメージキャラクターに起用。認知度・親近感・ブランド力を向上させ、車のタイヤ・ホイールを購入される際は「フジ・コーポレーション」を想起して頂ける企業を目指します。



認知及び購入に直結する広告は主に「バナナマン」さんをメインとした各種広告を展開し、車所有者をターゲットにしつつ、多くの人が接触する媒体を選定しております。WEBを中心とした検索・動画広告をはじめ、SNSプラットフォーム上での広告配信など日毎に変わるトレンドを常に意識し積極的に出稿しています。合わせて既存の主力媒体となるテレビCMへも出稿する事により地域・性別・年齢にとられない幅広い顧客の獲得を狙っております。

また、市場価格調査を日々行い、変動する流通価格を確認し、販売価格を随時更新する事で価格面での訴求力も向上させています。新規顧客を囲い込むと共に、ご購入者の満足度を高めてリピート購入率アップにも尽力しております。



ネットショッピングのご案内



今はWEBを通して何でも買える物が出る時代となりましたが、当社は早くから通信販売に着目し業界をリードして参りました。長年培ってきた信頼とサービスを基にこれからもネットショッピングのコンテンツを充実するなどし、他社との差別化を図って参ります。

www.fujicorporation.com



SDGsへの取り組み

当社は、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みの一環として、お客様をはじめ、社員の健康に留意すると共にジェンダー平等や、働きやすさ、働きがいのある職場環境の整備を行っております。また、資材のリサイクルやペーパーレス、省エネなど環境にも配慮した事業運営を進めております。6つの目標を策定し、積極的な取り組みをしております。詳しくはこちらから



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

販売戦略 ▶ 多岐にわたる戦略的販売方法

■ 店舗販売

店舗販売では、地域に密着した郊外型ロードサイドの店舗を設置し、大型チェーンとは一線を画したタイヤ・ホイールの専門店の位置付けで顧客ニーズにターゲットを当てた販売を行っております。最近の動向として、顧客ニーズが廉価品と高級指向への二極化が顕著になっており、当社においても、売れ筋商品にその傾向がみられます。その為、店舗開発を「ブランド志向」に振り、店舗形態（スペシャルブランド、タイヤ&ホイール館、フジファイブデイズ）に係らず「オシャレなお店」をテーマとし、おしゃれな家具やソファ等を配置。店内造形も工夫を凝らし、お客様がゆったりと店内でくつろげる空間づくりをしております。商品構成にも、店内空間にもこだわった「心地よいお店」をプロデュースしていきます。

■ 通信販売

通信販売の主流となったECサイトでの掲載商品は圧倒的なアイテム数を誇ります。自社ホームページをはじめ、主力ECモールへも出店し、購入経路を増やす事で販売網の強化をしております。また、EV車の増加をはじめ複雑化する車種グレードの違いによる異なるタイヤサイズや空気圧センサー装着車などにも対応し、市場及びお客様の購入ニーズに合った商品構成を構築しております。受注を受けた商品は、可能な限り人の作業を介さず処理する事で正確かつスピーディにお客様のもとへお届け致します。また、クレジットカード決済は3Dセキュア登録済のカードのみ利用可能とし、安心してネットショッピングをお楽しみ頂けます。



■ 業者販売

ロジスティクスや店舗の豊富な商品在庫と店舗のネットワークを活用し、販売先様への万全なサポート体制を構築しております。経験豊かなセールススタッフが、カーディーラー様、大手ガソリンスタンド様等を定期的に訪問し販売。土日祝日も窓口及び発送に対応する事で价格的・品質的にも高い競争力を付けております。今後も新規出店に伴いエリアを広げ、取引先様の開拓に努めて取引量の拡大を図って参ります。その中で得た最新の顧客ニーズを新たな商品開発及び輸入に活かしていきます。

タイヤショップ 全国48店舗で展開しています。



北海道地区

- スペシャルブランド 札幌清田店
〒004-0859 北海道札幌市清田区清田188-1
TEL: 011 (888) 5555
- ◆ 札幌西店
〒006-0004 北海道札幌市手稲区西宮の沢四栄4-18-38
TEL: 011 (691) 5555
- ◆ 札幌東店
〒007-0808 北海道札幌市東区東苗穂八条3-3-5
TEL: 011 (791) 5555

東北地区

- スペシャルブランド R45八戸店
〒031-0813 青森県八戸市大字新井田字寺窪6-1
TEL: 0178 (30) 1003
- スペシャルブランド 盛岡店
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮6-26-8
TEL: 019 (635) 3333
- スペシャルブランド 北上店
〒024-0072 岩手県北上市北丸柳33地割5-1
TEL: 0197 (62) 8540
- 一関店
〒021-0053 岩手県一関市山白字中野151-1
TEL: 0191 (33) 2020
- スペシャルブランド 富谷店
〒981-3341 宮城県富谷市成田1-2-2
TEL: 022 (351) 5555

- ◆ ワインショップ フジ
〒981-3341 宮城県富谷市成田1-2-2
TEL: 022 (348) 3310
- スペシャルブランド 名取店
〒981-1221 宮城県名取市田高字原295-1
TEL: 022 (381) 5555

- 仙台店
〒983-0821 宮城県仙台市宮城野区岩切1-2-14
TEL: 022 (255) 7000
- スペシャルブランド 泉バイパス店
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田34-3
TEL: 022 (374) 3888

- 石巻店
〒986-0868 宮城県石巻市恵み野1-1-4
TEL: 0225 (23) 5001
- 郡山店
〒963-8041 福島県郡山市富田町字下赤沼12-1
TEL: 024 (962) 2566

- スペシャルブランド 白河店
〒961-0076 福島県白河市五番町川原52-1
TEL: 0248 (21) 1155
- スペシャルブランド 福島店
〒960-8163 福島県福島市方木田字水持代3
TEL: 024 (539) 7771

- ◆ 山形店
〒990-2444 山形県山形市南四番町1-1
TEL: 023 (635) 5555

甲信越地区

- スペシャルブランド 新潟竹尾IC店
〒950-0862 新潟県新潟市東区竹尾4-10-16
TEL: 025 (256) 7755
- スペシャルブランド 新潟店
〒950-1102 新潟県新潟市西区善久697-1
TEL: 025 (377) 7761
- 長岡店
〒940-0857 新潟県長岡市沖田3-87
TEL: 0258 (30) 0055
- スペシャルブランド 長野店
〒381-2217 長野県長野市稲里町中央2-15-30
TEL: 026 (291) 0055
- 松本店
〒399-0033 長野県松本市笹賀6531-23
TEL: 0263 (85) 7555
- スペシャルブランド 甲府店
〒400-0043 山梨県甲府市国母7-9-42
TEL: 055 (236) 3838

関東地区

- スペシャルブランド 宇都宮店
〒320-0845 栃木県宇都宮市明保野町5-16
TEL: 028 (637) 7755
- スペシャルブランド 宇都宮東店
〒321-0901 栃木県宇都宮市平出町3545-2
TEL: 028 (683) 0606
- 小山店
〒323-0829 栃木県小山市東城南1-3-7
TEL: 0285 (31) 5500
- スペシャルブランド 伊勢崎店
〒372-0801 群馬県伊勢崎市宮子町3469-25
TEL: 0270 (23) 1100
- スペシャルブランド 高崎店
〒370-0005 群馬県高崎市浜尻町594-1
TEL: 027 (370) 3060
- スペシャルブランド 新大宮バイパス店
〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷212-1
TEL: 048 (621) 0011
- スペシャルブランド 川越店
〒350-1162 埼玉県川越市南大塚2-3-7
TEL: 049 (247) 0008
- スペシャルブランド 千葉穴川店
〒263-0051 千葉県千葉市稲毛区園生町444-10
TEL: 043 (253) 5550
- スペシャルブランド 柏沼南店
〒277-0922 千葉県柏市大島田538-1
TEL: 04 (7190) 2221
- スペシャルブランド 水戸店
〒310-0842 茨城県水戸市けやき台3-54
TEL: 029 (247) 8880
- スペシャルブランド つくば店
〒305-0818 茨城県つくば市学園南3-20-5
TEL: 029 (850) 3456
- スペシャルブランド 武蔵村山店
〒208-0004 東京都武蔵村山市本町1-71-1
TEL: 042 (843) 7020

- スペシャルブランド 練馬店
〒179-0075 東京都練馬区高松3-2-4
TEL: 03 (5971) 2666

青梅店

- 〒198-0024 東京都青梅市新町9-2041-1
TEL: 0428 (33) 3451

江戸川店

- 〒132-0021 東京都江戸川区中央2-1-18
TEL: 03 (5662) 5519

スペシャルブランド 横浜店

- 〒224-0044 神奈川県横浜市都筑区川向町2003-9
TEL: 045 (471) 7720

スペシャルブランド 相模原店

- 〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台1-9-5
TEL: 042 (770) 9090

東海・近畿地区

- スペシャルブランド 静岡店
〒422-8051 静岡県静岡市駿河区中野新田341-5
TEL: 054 (280) 1122
- スペシャルブランド 浜松店
〒435-0016 静岡県浜松市中央区和田町583-1
TEL: 053 (464) 8811
- スペシャルブランド R21岐阜店
〒500-8383 岐阜県岐阜市江添2-6-26
TEL: 058 (276) 3330
- スペシャルブランド グリーンロード店
〒480-1117 愛知県長久手市善婦郷106
TEL: 0561 (64) 2211
- スペシャルブランド R1中川店
〒454-0934 愛知県名古屋市中川区西中島2-107
TEL: 052 (384) 2200
- スペシャルブランド 岡崎店
〒444-0853 愛知県岡崎市三崎町3
TEL: 0564 (58) 0055
- スペシャルブランド 四日市店
〒510-0884 三重県四日市市泊町4-3
TEL: 059 (348) 6600
- スペシャルブランド 大阪箕面店
〒562-0004 大阪府箕面市牧落5-1-18
TEL: 072 (725) 0262
- スペシャルブランド 潮芦屋店
〒659-0035 兵庫県芦屋市海洋町9-3
TEL: 0797 (31) 0003



スペシャルブランド 相模原店



スペシャルブランド 横浜店



スペシャルブランド 大阪箕面店



スペシャルブランド グリーンロード店



スペシャルブランド 札幌清田店



スペシャルブランド 富谷店



ロジスティクス

自動倉庫システムと タイヤホイール自動組込装置

当社ではこれまで、第2ロジスティクスと第3ロジスティクス合わせて平置き倉庫7,000坪、自動倉庫2基、タイヤホイール自動組込装置2基を保有していましたが、2020年に新たにこれまでの2倍以上の収納能力の自動倉庫を完成させ、内部にはAGV(無人搬送車)やSTV(高速仕分け電動台車)、自動搬送コンベアを導入しました。これにより商品の先取り購入による在庫保有能力の向上、繁忙期の商品保管体制の改善、かねてからの課題である多様化する顧客ニーズへの対応、受注から発送までのリードタイムの短縮等が可能となりました。

自動倉庫システムは基幹システム「FACE」とリンクしており、受注データから出荷商品呼び込み、自動的に商品の積載されているパレットを出庫します。その後のタイヤホイールの出荷作業は独自に構築した生産ラインで組込、エア注入、バランス調整、梱包といった一連の作業を自動化し、自動倉庫システムとの相乗効果により、発送業務の効率を飛躍的に向上させる事が出来ます。今後も更なるオートメーション化を推進し、物流業務の改善を行って参ります。



第3ロジスティクス

第2ロジスティクス
〒981-3341 宮城県富谷市成田1-7-1

第3ロジスティクス
〒981-3341 宮城県富谷市成田9-1-1



ワインショップフジ

ソムリエ常駐 高品質なワインをお手軽に

全国でも珍しい地下ワインセラーを備え、ワインの保管に最適な温度15~16℃、湿度70%前後を徹底管理し、約1万本を貯蔵。仕入れるワインは輸送時や保管が徹底されたインポーターから、当店ソムリエ・ワインアドバイザーがテイスティングをして厳選。名だたるブランドの他、知名度や価格にこだわらず、個性豊かなワインをセレクトしています。



ワインショップフジ

■営業の概要(2024年10月期)

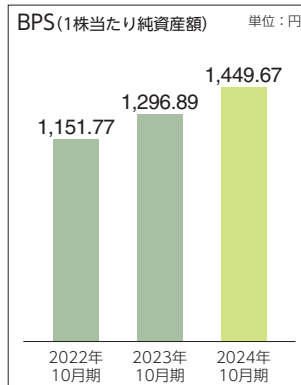
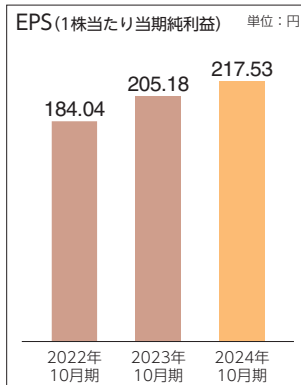
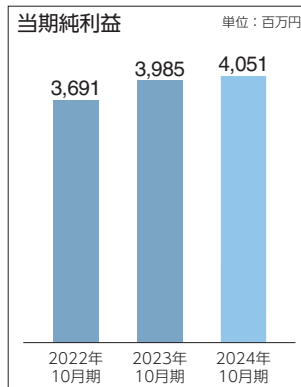
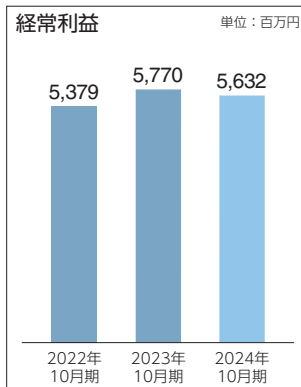
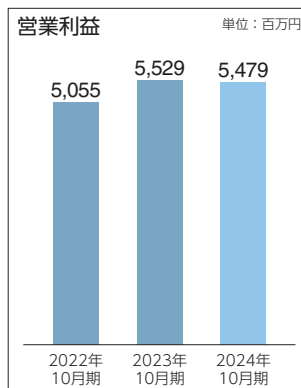
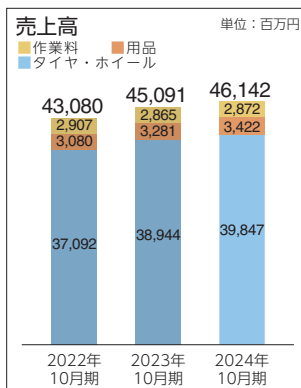
当事業年度(2023年11月1日~2024年10月31日)における我が国の経済は、政治経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善等、景気は緩やかな回復基調にあった一方で、世界的な金融引締めや資源・原材料価格の高騰に伴う物価の上昇等による景気後退懸念など、依然として取り巻く環境は厳しく、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社におきましては、タイヤ・ホイール等取扱い商材の全般的な値上げに加え、暖冬によるスタッドレスタイヤの需要減もあり販売数量は減少しましたが、商品単価が上昇した為、売上高は前事業年度を上回る事が出来ました。しかし、急激な円安による仕入コストの上昇や政策的な賃上げによる人件費の増加もあり、営業利益、経常利益は若干の減益となりましたが、賃貸物件の売却による特別利益により、当期純利益は増益で終える事が出来ました。

この結果、当事業年度の売上高は46,142百万円(前事業年度比1,050百万円、2.3%増)となりました。売上高を商品別に見ますと、タイヤ・ホイールは売上金額39,847百万円(前事業年度比902百万円、2.3%増)、売上本数2,942千本(前事業年度比95千本、3.1%減)となりました。用品は売上金額3,422百万円(前事業年度比140百万円、4.3%増)、作業料は売上金額2,872百万円(前事業年度比7百万円、0.3%減)となっております。売上構成比は、タイヤ・ホイール86.4%(前事業年度86.4%)、用品7.4%(前事業年度7.3%)、作業料6.2%(前事業年度6.3%)となりました。また、販路別売上高の状況は、店舗売上高27,959百万円(前事業年度比790百万円、2.9%増)、本部売上高18,182百万円(前事業年度比259百万円、1.5%増)となっております。

当事業年度の経営成績を総括致しますと、営業利益5,479百万円(前事業年度比50百万円、0.9%減)、経常利益5,632百万円(前事業年度比137百万円、2.4%減)、当期純利益4,051百万円(前事業年度比65百万円、1.6%増)となりました。

財務ハイライト **Financial Highlights**



会社概要 (2024年10月31日現在)

商号	株式会社フジ・コーポレーション (英文会社名：FUJI CORPORATION)		
所在地	〒981-3341 宮城県富谷市成田1-2-2		
設立	1971年11月		
資本金	1,236,515,600円		
事業内容	自動車用タイヤ・ホイール・カー用品の販売		
従業員数	482名 (パート・アルバイト等は除く)		

役員 (2025年1月29日現在)

代表取締役会長	遠藤 文樹	常勤監査役	林田 昭一
取締役副会長	佐々木 正男	常勤監査役	邊見 慶二郎
代表取締役社長	多賀 睦実	監査役	佐藤 茂
常務取締役	千葉 和博	監査役	檜山 公夫
取締役	川村 尚言		
取締役	小林 秀貴		
取締役	中村 賢二		
取締役	大江 恵子		
取締役	吉田 邦光		

株式情報 (2024年10月31日現在)

発行可能株式総数	60,800,000株	
発行済株式総数	18,087,109株 (自己株式318,291株を除く。)	
株主数	6,722名 (前期比1,075名減)	

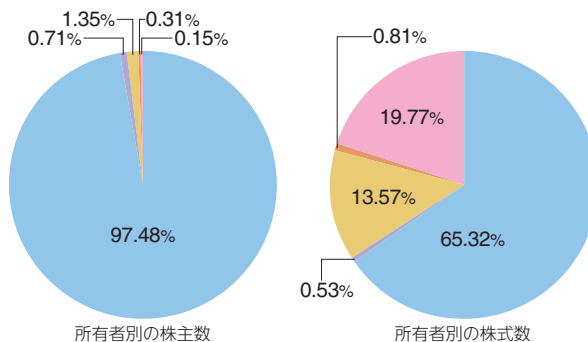
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
遠藤文樹	7,683,100	42.48
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	1,502,900	8.31
佐々木正男	1,175,900	6.50
(株)日本カストディ銀行 (信託口)	654,700	3.62
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	492,900	2.73
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	471,403	2.61
(株)七十七銀行	462,000	2.55
野村信託銀行(株) (投信口)	442,280	2.45
(株)三菱UFJ銀行	440,000	2.43
多賀睦実	237,100	1.31

(注) 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況 (2024年10月31日現在)

■個人その他 ■その他法人 ■外国法人等 ■金融商品取引業者 ■金融機関



本社外観

貸借対照表

科目	当期	前期
	2024年10月31日現在	2023年10月31日現在
資産の部		
流動資産	21,768,650	18,156,778
現金及び預金	5,092,092	1,975,311
売掛金	3,732,436	3,898,588
商品	9,947,554	9,574,031
前払費用	912,678	915,281
未収入金	1,978,569	1,716,456
1年以内回収予定建設協力金	43,479	42,975
その他	67,872	51,920
貸倒引当金	△ 6,032	△ 17,786
固定資産	15,251,276	15,527,567
有形固定資産	12,921,724	13,364,703
建物	5,794,693	6,194,511
建物附属設備	735,534	826,540
構築物	345,603	427,904
機械装置	1,509,614	1,876,924
車両運搬具	78,573	97,198
工具器具及び備品	180,909	156,976
土地	3,295,446	3,059,515
リース資産	649,423	678,911
建設仮勘定	331,925	46,220
無形固定資産	384,874	304,256
商標権	690	986
ソフトウェア	230,418	240,021
リース資産	403	1,209
電話加入権	4,212	4,212
水道施設利用権	705	806
ソフトウェア仮勘定	148,445	57,020
投資その他の資産	1,944,677	1,858,608
出資金	23	23
長期貸付金	7,472	—
長期前払費用	79,548	84,809
繰延税金資産	707,988	652,904
建設協力金	594,524	638,004
敷金	334,886	344,668
保証金	208,714	127,061
破産更生債権等	27,829	27,829
その他	11,519	11,136
貸倒引当金	△ 27,829	△ 27,829
資産合計	37,019,927	33,684,346

科目	当期	前期
	2024年10月31日現在	2023年10月31日現在
負債の部		
流動負債	9,253,689	7,627,859
買掛金	4,995,156	3,254,825
1年以内返済予定リース債務	41,449	41,338
未払金	660,530	715,318
未払費用	141,792	133,827
未払法人税等	985,667	1,013,340
未払消費税等	350,736	373,208
前受金	1,050,538	1,031,358
預り金	26,724	25,788
前受収益	880,353	951,724
賞与引当金	116,100	87,130
資産除去債務	4,640	—
固定負債	1,509,554	1,553,792
リース債務	682,500	723,949
退職給付引当金	351,701	335,628
資産除去債務	250,105	251,867
長期未払金	198,847	198,847
その他	26,400	43,500
負債合計	10,763,243	9,181,651
純資産の部		
株主資本	26,220,382	24,466,394
資本金	1,236,515	1,236,515
資本剰余金	1,273,115	1,273,115
資本準備金	1,273,115	1,273,115
利益剰余金	24,319,171	22,504,992
利益準備金	6,570	6,570
その他利益剰余金	24,312,600	22,498,421
固定資産圧縮積立金	3,406	3,654
別途積立金	1,300,000	1,300,000
繰越利益剰余金	23,009,193	21,194,766
自己株式	△ 608,419	△ 548,229
新株予約権	36,300	36,300
純資産合計	26,256,683	24,502,695
負債・純資産合計	37,019,927	33,684,346

単位：千円 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

科 目	当 期		前 期	
	2023年11月1日～2024年10月31日		2022年11月1日～2023年10月31日	
売上高	46,142,013	45,091,591		
売上原価	31,163,037	30,270,049		
売上総利益	14,978,976	14,821,541		
販売費及び一般管理費	9,499,904	9,292,261		
営業利益	5,479,071	5,529,280		
営業外収益	232,153	310,650		
営業外費用	78,798	69,871		
経常利益	5,632,425	5,770,060		
特別利益	201,755	7,922		
特別損失	1,258	—		
税引前当期純利益	5,832,922	5,777,982		
法人税、住民税及び事業税	1,836,497	1,827,560		
法人税等調整額	△ 55,083	△ 35,571		
当期純利益	4,051,508	3,985,993		

単位：千円 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

科 目	当 期		前 期	
	2023年11月1日～2024年10月31日		2022年11月1日～2023年10月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,151,136	4,635,417		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 588,231	△ 1,302,926		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,450,061	△ 2,167,825		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,112,843	1,164,664		
現金及び現金同等物の期首残高	1,974,417	809,752		
現金及び現金同等物の期末残高	5,087,261	1,974,417		

単位：千円 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

その他IR情報もホームページに掲載しております。
ぜひご参照下さい。



www.fujicorporation.com/company/



株主資本等変動計算書

当 期 2023年11月1日～2024年10月31日	株主資本											新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計			
		資本準備金	その他剰余金			その他利益剰余金		利益剰余金 合計					
			自己株式処分差益	資本剰余金 合計		固定資産圧縮積立金	別途積立金						
当期首残高	1,236,515	1,273,115	—	1,273,115	6,570	3,654	1,300,000	21,194,766	22,504,992	△548,229	24,466,394	36,300	24,502,695
当期変動額													
剰余金の配当								△708,015	△708,015		△708,015		△708,015
当期純利益								4,051,508	4,051,508		4,051,508		4,051,508
固定資産圧縮積立金の取崩						△248		248	—		—		—
自己株式の取得										△1,700,014	△1,700,014		△1,700,014
自己株式の処分			8,927	8,927						74,852	83,779		83,779
自己株式の消却			△8,927	△8,927				△1,556,044	△1,556,044	1,564,972	—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								26,730	26,730		26,730		26,730
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△248	—	1,814,427	1,814,179	△60,190	1,753,988	—	1,753,988
当期末残高	1,236,515	1,273,115	—	1,273,115	6,570	3,406	1,300,000	23,009,193	24,319,171	△608,419	26,220,382	36,300	26,256,683

単位：千円 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

事業年度	11月1日～翌年10月31日
期末配当金受領株主 確定日	10月31日
中間配当金受領株主 確定日	4月30日
定時株主総会	毎年1月
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	株式会社アイ・アール ジャパン
(郵便物送付先及び) 問合わせ先	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン 証券代行業務部 TEL:0120(975)960 (通話料無料)
上場証券取引所:コード	東京証券取引所 プライム市場:コード7605
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います 公告掲載URL https://www.fujicorporation.com (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告が出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承る事となっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。株主名簿管理人(株式会社アイ・アール ジャパン)ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する、証券口座への振替請求、住所・氏名等の変更や配当金受領方法の指定などの各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(株式会社アイ・アール ジャパン)にお問合わせ下さい。
- 未受領の配当金につきましては、株主名簿管理人(株式会社アイ・アール ジャパン)でお支払い致します。

株式会社フジ・コーポレーション

お問合わせ先
 管理部/〒981-3341 宮城県富谷市成田1-2-2
 TEL:022(348)3300 FAX:022(348)3341
investor-relations@fujicorporation.ne.jp

